

各 位

会社名 株式会社シード
 代表者 代表取締役社長 浦 壁 昌 広
 (コード番号 7743・JASDAQ)
 問い合わせ先 取締役管理本部長 鎌田 清
 TEL 03-3813-1111 (大代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年5月16日付当社「平成23年3月期決算短信」において発表いたしました、平成24年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）の業績予想について、下記のとおり修正をいたします。

記

1. 平成24年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想の修正

①連結第2四半期累計期間業績予想の修正

(単位：百万円※単位未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	6,000	50	20	10	1.30円
今回修正 (B)	6,033	124	94	113	14.80円
増減額 (B - A)	33	74	74	103	—
増減率	0.6%	149.8%	371.2%	1,039.6%	—
参考：前年同期実績	5,939	25	2	41	5.44円

②個別第2四半期累計期間業績予想の修正

(単位：百万円※単位未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	4,900	60	30	20	2.60円
今回修正 (B)	4,961	116	96	91	11.93円
増減額 (B - A)	61	56	66	71	—
増減率	1.3%	93.4%	220.4%	359.6%	—
参考：前年同期実績	4,824	69	57	102	13.30円

③修正理由

〔個別〕

売上高は、「シード ワンデーピュア」と「シード ワンデーファイン」の1日使い捨てカテゴリーにおいて、計画比約118%の進捗で第2四半期累計期間を終えましたものの、ケア用品が販売競争激化による影響で計画に対して約30%減と大幅に落ち込んだため、売上高全体では、ほぼ見込みどおりとなりました。しかしながら、この1日使い捨てカテゴリーの伸長に支えられて利益が増大し、「ファインシリーズ」の円高に伴う仕入原価低減によって利益率も改善したことから、粗利益は70百万円弱の増加となりました。これにより、営業利益は、販促経費の積み増し等による計画対比超過分約16百万円を加味しまして、56百万円の増加となる見込みです。

また、営業外収益において、円高の進行による為替差益の発生等により、経常利益は66百万円増加することとなり、この結果、当期純利益も71百万円の増加となる見込みであります。

〔連結〕

個別の増加理由に加えて、タワービジョンの小売店舗のスクラップ&ビルド(出店2店/閉店1店)効果や、東日本大震災に起因する小売市場での減少幅も当初予想に対して小幅で収まったため、粗利益が約100百万円増加することとなり、営業利益、経常利益ともに74百万円の増加となる見込みです。

さらに、小売店舗の譲渡に伴う特別利益31百万円の計上により、当期純利益は103百万円の増加となる見込みであり、予想数値を修正するものであります。

2. 通期（連結・個別）業績予想について

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績、今後の販売戦略や市況等を踏まえて精査を行いました。第3四半期以降は「シード ワンデーピュア」に新たなうるおい成分を配合した後継商品『シード ワンデーピュアうるおいプラス』の投入等、積極的な販売戦略を展開してまいりますものの、初期導入に伴うトライアルレンズの増加や販促ツール類の配荷により、利益の圧迫が想定されます。また、先に設立の発表をいたしました、実瞳（上海）商貿有限公司やSEED Contact Lens Europe S.A.（ベルギー）の海外子会社においても、設立後、販売機会を捉えるための機動的な販促費用等が発生する可能性もあります。

加えて、歴史的な円高水準の長期化や、タイの洪水による製造業への影響、冬季の全国的な電力事情等に起因する消費動向の沈滞も懸念され不透明な経営環境が続くこと等から、現時点で通期見通しの変更を行うには妥当性を失う恐れがあり、平成23年5月16日付の予想数値を据置くこととさせていただきます。今後の進捗状況により、予想数値の増減が見込まれると判断した際には速やかに開示をいたします。

【業績等の予想に関する注意事項】

当該資料に掲載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

以 上